

## 用語解説

用 語	解 説
<b>あ</b> ACT(Assertive Community Treatment: 包括的地域生活支援プログラム)	<p>重い精神障害がある人の中で、入退院を繰り返す患者や通院を中断した患者など、既存の医療サービスや福祉サービスのみでは安定した地域生活を送ることができない患者に対し、医療面での支援を行う医師や看護師、生活面での支援を行う精神保健福祉士、作業療法士などで構成する多職種チームにより、医療、保健、福祉、生活支援などの包括的な支援を行うこと。</p>
AYA世代	<p>思春期・若年成人世代 (Adolescent and Young Adult, AYA) のこと。            AYA 世代に発症するがんは、診療体制が定まっておらず、小児と成人領域の狭間で患者が適切な治療が受けられない等の特徴がある。</p>
<b>い</b> 医師主導治験	<p>医師自らが、実施医療機関と協力しながら治験のすべての業務の実施並びに統括をする治験。</p> <p>外国で承認されているが国内未承認、あるいは適応外使用が一般的となっている医薬品や医療機器について医師主導治験を実施することにより、その医薬品や医療機器の薬事承認を取得し、臨床の現場で適切に使えるようにすることが可能となる。</p> <p>2003年に薬事法が改正され、製薬企業等と同様に医師自ら治験を企画・立案し、治験計画届を提出して治験を実施できるようになった。</p>
一般会計負担金	<p>病院事業等の公営企業は独立採算が原則であるが、その性質上病院経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費(保健衛生行政事務に要する経費など)や能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが困難な経費(高度医療に要する経費など)を地方公営企業法に基づき地方公共団体の一般会計が負担する金額のこと。</p>
医療観察法	<p>心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(心神喪失者等医療観察法)を指す。</p> <p>重大な他害行為を行い、地方裁判所から入院決定を受けた精神障害者に対し、国が指定した医療機関において円滑な社会復帰を促すことを目的としている。</p>
<b>え</b> エキスパートパネル	<p>国から指定を受けたがんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院に設置される専門家チームで、担当医、病理医、遺伝医療の専門家、がんゲノムの専門家、バイオインフォマティクスの専門家など様々な分野の専門家で構成される。遺伝子の検査データをもとに、それぞれのがん患者さんに適した治療法を検討する。</p>

	用語	解説
え	NICU(Neonatal Intensive Care Unit: 新生児特定集中治療室)	未熟児を含めたハイリスク新生児を対象とし、呼吸管理、各種管理装置を用いた観察や生存率を高めるために集中的に治療を行う特殊な施設のこと。
	エビデンス(evidence)	効果があることを示す証拠や検証結果・臨床結果のこと。 医療行為において治療法を選択する際「確率的な情報」として、安全で効果のある治療方法を選ぶ際に指針として利用される。
	mECT(修正型電気けいれん療法)	電気けいれん療法(以下、ECT)とは、電氣的刺激によって脳にてんかん様の発作活動を誘発し、これによる神経生物学的効果を通して、統合失調症を始めとした精神疾患の臨床症状の改善を図る治療法である。治療で惹起される全身性けいれん発作の副作用・合併症を軽減・予防する目的で、静脈麻酔薬と筋弛緩薬を使用し全身麻酔下で行うECTのことをmECT(修正型電気けいれん療法)と呼ぶ。
お	オープンホスピタル	本計画では、地域に開かれた病院として連携を強化するため、クリニック等外部医療機関の精神科医師が(非常勤医師として)外来・入院を含めた治療に関与する体制のこととしている。
か	外来化学療法	外来診療で、抗がん剤などを用いて、がん治療を行うこと。 抗がん剤の進歩により副作用が少なくなり、入院せずに外来で治療することが可能な場合が多くなってきていることから、この療法により日常生活等への支障が少なくなっている。
	がんゲノム医療拠点病院	がんゲノム医療のための遺伝子パネル検査の医学的解釈を自施設で行うことができると国が認めた病院のこと。
	がん診療連携拠点病院	全国どこに住んでいても均しく高度ながん医療を受けることができるよう、緩和ケアチーム、相談支援センターの設置等が義務付けられた厚生労働大臣が指定する病院のこと。 都道府県に概ね1か所指定される都道府県がん診療連携拠点病院(本県ではがんセンター)と2次医療圏に1か所程度指定される地域がん診療連携拠点病院(がんセンターが名古屋医療圏で指定されている)があり、愛知県では、2022年4月現在で18病院が指定されている。 また、愛知県のがん診療の充実を図るために、県独自の「愛知県がん診療拠点病院」として愛知県知事が指定する制度があり、2022年4月現在で9病院が指定されている。
	緩和ケア	がんと診断された時からがんの治療と並行して、患者やその家族等の身体的及び精神的な苦痛に対する生活面のケア、精神面のケアなどを行い、いつまでもその人らしく生きていくことができるようサポートすること。

	用語	解説
き	逆紹介	<p>病院において急性期の病状の治療を終えたが、なお、継続的な治療が必要な患者を病院から地域の診療所等に紹介すること。</p> <p>本計画では、特定機能病院に逆紹介割合（％）が一定水準以下の病院を対象にした減算規定が適用されることから、がんセンターの数値目標においては、精神医療センター及び小児センターの逆紹介率（％）（＝逆紹介患者数／初診患者数×100）とは異なり、逆紹介割合（％）（＝逆紹介患者数／（初診＋再診患者数）×1,000）を採用している。</p>
く	グリーフケア	<p>悲嘆（グリーフ）とは、喪失に対する全人的な反応（精神的、行動的、社会的、身体的、スピリチュアル）のプロセスを指す。成人を対象としたグリーフケアは主として終末期にある患者本人に対するサポートのことを言うが、小児におけるグリーフケアは、主として子どもと死別した家族の悲観に対するサポートのことをいう。</p>
	クリニカルパス (clinical pathway)	<p>患者の診療の計画を、横軸に時間、縦軸に診療項目をとって整理したスケジュール表のこと。</p> <p>医療チームのメンバーが診療経過を共通理解することにより、医療の質や安全性の向上、効率化が図れるほか、患者への情報開示のツールとして利用できる。（クリティカルパスと同じ）</p>
	クロザピン (Clozapine)	<p>抗精神病薬の一つで、治療抵抗性の統合失調症に対して、効果があることが認められた薬剤。</p> <p>無顆粒球症や白血球減少症などの血球に対する副作用、心筋炎や心筋症など心臓に対する副作用があるとされ、治療に当たっては定期的な血球数等の検査が義務付けられている。</p>
け	ゲノム医療	<p>ゲノムとは、遺伝子を始めとする遺伝情報全体を指す。</p> <p>ゲノム情報は体をつくるための、いわば設計図のようなもので、それらを網羅的に調べ、その結果をもとにして、より効率的・効果的に病気の診断と治療などを行うこと。</p>
さ	サーベイランス	<p>遺伝学的検査の結果、がんの発症リスクが高いと推定された方に対してきめ細かく計画的にがんの早期発見を目的として継続的に提供される検査のこと。</p>
	サブスペシャリティ領域	<p>基本領域の専門医を取得した後に目指す、専門的で範囲の狭い専門医のこと。</p>

	用語	解説
さ	サルコーマ(sarcoma：肉腫)	<p>全身の骨や軟部組織(脂肪、筋肉、神経など)から発生する悪性腫瘍の総称。</p> <p>発生頻度は極めて低いが、若年者から高齢者まで幅広い年齢層で、全身のさまざまな部位・組織から発生する。</p> <p>症状や必要とされる治療、治療効果もそれぞれ異なることから、専門の医療機関での治療が必要とされる。</p>
し	CRC(Clinical Research Coordinator：治験コーディネーター)	医療機関において、治験責任医師・分担医師の指示のもとに、医学的判断を伴わない業務や、治験に関わる事務的業務、業務を行うチーム内の調整等、治験業務全般をサポートする。
	修正医業収支比率	<p>(入院収益＋外来収益＋その他医業収益) ÷ 医業費用。</p> <p>医業収益から他会計負担金、運営費負担金等を除いたもの(修正医業収益)を用いて算出した医業収支比率。</p>
	重点プロジェクト	本県において、難治がんや罹患者の多いがんを対象に、病院と研究所の協働により実施している4つのプロジェクト(①がんゲノム予防医療プロジェクト②がん超精密医療プロジェクト③がん免疫ゲノムプロジェクト④がん情報革命プロジェクト)。
	受託研究	<p>新医薬品等の開発の過程において、ヒトを対象として医薬品等の有効性と安全性を確かめるために行われる治験*研究や、新しい治療方法等について、その安全性と有効性を確認するために行われる研究のこと。</p> <p>効果及び安全性が確認された後、一般的な治療方法として確立される。</p>
	紹介率	病院を受診した初診患者に占める他の医療機関等からの紹介患者(救急車により搬送された患者を含む)の割合のこと。
	新専門医制度	国民に広く良質な医療を提供し、育成される医師のキャリア形成支援も重視すべく2018年4月に導入された制度。
	診療材料	ペースメーカー等の手術用材料、検査用材料、注射器、ガーゼ等、診療に用いられる材料のこと。
	診療報酬	<p>医療機関がその提供する医療サービスに対する対価として請求する金銭のこと。</p> <p>保険診療においては、診療報酬点数表により個々の診療行為の額が定められている。</p>
せ	精神科救急医療システム	夜間休日における精神科の救急医療に対応するための精神科救急医療体制のこと。
	セカンドオピニオン(second opinion)	患者が治療方法を選択するうえで参考にするため、最初に診察を受けた医師とは別の医師の診察を受け、治療方法についての意見を聞くこと。

	用語	解説
せ	専門看護師	<p>複雑で解決困難な看護問題を持つ者に対し、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門看護分野の知識・技能を深めた者として日本看護協会の審査に合格した看護師。</p> <p>2022年2月現在、がん看護、小児看護など14の専門看護分野がある。</p>
そ	総合がんセンター	<p>本計画では、臨床現場である病院への橋渡し研究を推進することで、最先端のがん医療を提供するがんセンターのこととしている。</p>
ち	治験	<p>医薬品・医療機器の承認申請を目的とした臨床試験で、医薬品・医療機器法等の法律を遵守して実施される。治験には、企業が主導で実施する企業主導治験と医師が自ら実施する医師主導治験が存在する。</p>
	地方公営企業法の「全部適用」	<p>病院事業に適用されている地方公営企業法に関して、法律上当然に適用される「財務に関する規定」のみを適用することを「一部適用」というのに対して、任意適用とされている「組織に関する規定」、「職員の身分取扱に関する規定」を条例で定めることにより適用すること。</p>
	地方独立行政法人	<p>地方独立行政法人法の規定に基づき地方公共団体が設立する法人のこと。</p> <p>地域において確実に実施される必要のある事務・事業のうち、地方公共団体自身が直接実施する必要はないものの、民間の主体に委ねては確実な実施が確保できないおそれがあるものを効率的・効果的に実施させることを目的とする。</p>
	チャイルド・デス・レビュー	<p>子ども（18歳未満の者）の死亡に関する効果的な予防策を導き出すことを目的に、複数の関係機関・専門家（医療機関、警察、消防、その他の関係者）が、死亡した子どもの既往歴、家族背景、当該死亡に至った直接の原因等に関する情報を基に行う当該死亡に関する検証のこと。</p>
て	DPC(Diagnosis Procedure Combination: 診断群分類別包括制度)	<p>入院期間中の傷病名と、処置、化学療法などの診療行為の組合せによる分類に基づく1日当たり定額報酬算定制度のこと。</p> <p>この制度の導入により、過剰な検査の排除や入院日数の短縮化、後発医薬品の利用が見込まれ、結果として医療費が抑制されることが期待されている。</p>
と	特定機能病院	<p>医療施設機能の体系化の一環として、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えているとして、厚生労働大臣が個別に承認した病院のこと。</p> <p>2022年12月現在、全国で大学病院を始め88病院が指定されている。</p>
	トランスレーショナル・リサーチ(translational research)	<p>新しい医療を開発するための臨床に繋がる研究のこと。</p> <p>基礎と臨床とをつなぐ「橋渡し研究」とも言われる。</p>

	用語	解説
に	2次医療圏	原則として、1次医療(通院医療)から2次医療(入院医療)までを包括的、継続的に提供し、一般及び療養の病床の整備を図るための地域単位として設定する区域のこと。 愛知県においては、11の医療圏に区分されている。
	認定看護師	特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者として日本看護協会の認定審査に合格した看護師。 乳がん看護、緩和ケア*、訪問看護、小児救急看護などの認定看護分野がある。
は	バイオシミラー薬	特許が切れたバイオ医薬品(先行バイオ医薬品)と「ほぼ同じ有効成分」が「同じ量」含まれている薬のこと。
	パネル検査	がん遺伝子パネル検査は、合う薬があるかどうかを調べる検査である。 生検や手術などで採取されたがんの組織を用いて、高速で大量のゲノムの情報を読み取る「次世代シーケンサー」という解析装置で、1回の検査で多数(多くは100以上)の遺伝子を同時に調べる。
ひ	ピア・サポート(peer support)	同じような立場の人によるサポートといった意で用いられる言葉であり、がんにおいては、がん体験者ががんに立ち向かう患者やその家族に寄り添い、自らの体験を通して相談者の抱えている不安や悩みを軽減、解消するための活動や相談員のこと。
	PICU(Pediatric Intensive Care Unit: 小児集中治療室)	小児の大けがや、緊急を要する疾患に対応できる設備と医療スタッフを備えた集中治療室のこと。
	病床利用率	病床が平均的にどのくらい利用されているかを、病床数に対する在院患者数の割合で算出する率のこと。
ふ	プライマリ・ケア	家庭や地域社会の状況を考慮し、個々の患者に起こるほとんどの健康問題に責任を持って対処する医師(歯科医師)が、患者と継続的な関係を持ちながら提供する身近で包括的な医療のこと。
	プレアボイド	薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避あるいは軽減した事例のこと。
へ	平均在院日数	患者が入院してから退院するまでの期間の平均値のこと。 在院患者延数 / ((新入院患者数+退院患者数)/2)
	ベンチマーク分析	他病院の医薬品等の購入価格の平均値、最安値、購入量との関係分布などを基準(ベンチマーク)として、自病院の購入価格を分析すること。

	用語	解説
リ	リサーチレジデント (research resident)	がんセンター研究所において研究業務を通じ、がんに関する専門的知識及び技術を修得することを目的とする研修医のこと。 本県では2001年度よりリサーチレジデント制度を採用している。
	リニアック (linac)	エックス線や電子線などの放射線を当てて、がんなどの治療をする放射線治療装置のこと。
れ	レジデント (resident : 研修医)	本計画では、初期臨床研修 (通常2年間) を終えた後の専門領域の研修を行う後期臨床研修医 (通常3年目以降) を指す。